

毎日の業務中での「一コマ」紹介！ (社員の感想等)
業務報告(日報)の中から、その一部を紹介させていただきます

○今日は奥様から「老後の今が一番楽しい」との話を聞き、素晴らしいことだと思いました。



○お客様宅への電話が通じないので、後で聞いたら先日のカミナリが落ちた際に電話や家電製品が全てダメになったとのこと、カミナリはコワイですね。



○会社の車にデザインされている魚の絵について、お客様から「魚の名前を入れたら今以上に人の興味をそそるかも」との提案を頂きました。



○小学生がセミを素手で捕まえていました、私は触ることもできないのですごいと思いました。



○今日は腰が痛くて現場作業が辛かったが、高齢者の気持ちが少し分かる気がしました。
○80過ぎのおばあさんが「年をとるとお金はあっても特に買いたいものや食べたいものがない」と話をされました。年をとるということはそういうことなのか、と思った。



○郡山町の区画整理区域で家が解体となりしばらく引っ越しをされるお客様から「区画整理が終わり新しい家が完成したらまた浄化槽の管理をお願いします」と予約をいただきました。ありがたいことです。



○4月頃の熊本への引っ越しが震災の影響で延期となっていたお客様、ようやく家の再建のメドがたち娘さんの所へ行けると喜んでいました。



○腰を痛めて作業がきついで全体で治療を受けた、骨がずれていたとことで、今日は痛みがなくなりました。



○孫が帰ってきている間だけクーラーをつけるのよ、と話をされたお宅がありました、暑いので身体を大事にしてくださいねと声掛けしました。



○2、3日前に退院してきたばかりのお客様と「年をとると何よりも健康が一番ですね」と話はずみました。



○今日はとても暑い、軽度の熱中症みたいで頭痛が止まない一日だった、明日は休日なのでゆっくり静養します。



○山間部の点検に行くと、家や浄化槽の周りに草が茂っているところが多く、ヘビが出てきそうのでドキドキします、草を刈ってほしいです。



解体前の体育館でキャンプ(松元小)

松元小学校の6年生と保護者ら約120人が、8月10日と11日の両日、12月解体予定の体育館でキャンプを行いました。

■参加した弊社の社員(有村41歳)一言:夏休みの思い出にと家族4人(長女6年生、長男4年生、妻)で参加。児童と母親と一緒にカレーを作り、父親らは輪投、射的、ボール投げなどの屋敷を準備し、寝転んで作った「未来」の人文字に感動しました。



お便り お客様からの手紙(紹介)

保守点検の際に、浄化槽の近くにつないである犬(あんこ)をかわいがっていただいております。そのあんこも12歳の老犬ですが、点検に来られたときに合せて帰ってもらえれば喜ぶと思います。先日の点検でもあんこと戯れてもらったようで家族で喜んでます。よろしくお願ひします。



表彰 永年勤続功労者表彰!

5月25日、鹿児島県環境整備事業協同組合の通常総会において弊社の社員(今原43歳、勤続20年)が永年勤続功労者表彰を受けました。

■本人一言:長いようであつという間の20年でした。これからもお客様に喜ばれる仕事を心掛けていきたいです。



かたいもんそ

平成15年5月創刊 「かたいもんそ」は、<http://bunka-inc.jp>にてご覧いただけます。47号は平成28年10月1日より配布開始しています。



社長:土屋 妥九

未だ復興まなならぬ熊本大分震災および東北北海道方面での台風被害により不自由な生活をお送りの皆様へ引き続き衷心よりお見舞い申し上げます。

さて、明治維新から150年、終戦から70年と歴史の転換から節目を迎える昨今ですが、当時からすると想像もできないような生活の在りようになってきています。NHK大河ドラマでは「西郷どん」が決まりました。変わりすぎる世の中であって、利他の精神で人々を魅了した郷土の偉人の登場は、変わる世の中であって、変わってはならない「人の心やあり方」なども作られていくものと思います。

変わることもない大切な「人とのつながり」を糧に、地域での役割に徹し、さらにお客さまにお役にたてることを探求してまいります。

ボランティア 甲突川清掃活動に参加しました
~市民や事業者117組(444名)が参加~



7月31日、「甲突川をみんなできれいにしましょう」との公益財団法人かごしま環境未来財団の呼び掛けに、大勢のボランティアが清掃活動に参加しました。

弊社も鹿児島市の「環境管理指定事業所」として、また浄化槽維持管理業務をつうじて水環境の保全を図る立場から、社員7名が参加し河川敷のゴミ拾いや除草作業を行いました。



ボランティア 夏祭り花火大会後の清掃活動
(松元平野岡運動場・郡山総合運動公)

8月7日(日)の早朝、松元平野岡運動場及び郡山総合運動公園の2会場で、毎年恒例の清掃活動を地元の方々と一緒にしました。弊社は社員13名が2会場に分かれ、主に花火の破片拾いに参加しました。

両会場とも年々祭りの規模や観客数は盛大になってきていますが、捨てられたゴミは本当に少なく感心します。



学び 浄化槽技術研修会
~環境保全協会日置支部~

6月13日、日置市伊集院町で浄化槽技術研修会が開かれ「日置市における浄化槽設置基数と補助金交付実績」について日置市職員から、「浄化槽工事契約時の注意事項」について環境保全協会職員からそれぞれ説明がありました。

日置市では、26年度から実施した浄化槽設置整備事業補助金の増額改定により設置基数が以前の約1.5倍となっています。



学び 浄化槽維持管理技術研修会
~環境保全協会本部~

9月6日、鹿児島市内で28年度浄化槽維持管理技術研修会が開催され、県内から約300名の浄化槽管理士(弊社18名)が参加しました。

研修では①浄化槽の維持管理に関する制度、②水質悪化施設の改善事例、③アムズ浄化槽C X N II型及びC X U II型の維持管理のポイント、④浄化槽用水中ポンプのしくみとメンテナンス、⑤ブロワーの分解・清掃・部品交換、について鹿児島県、県環境検査センター及び製造メーカーの担当者から説明がありました。



浄化槽の工事風景！ ～浄化槽工事は次のような段階を経て完成します～

浄化槽の工事を最初の段階から最後まで見たことのある方は少ないのではないのでしょうか。どのような工事が行われているのか主な内容を紹介いたします。なお浄化槽工事にあたっては、関係法令等で「浄化槽工事の技術上の基準」や「浄化槽適正工事マニュアル」が定められており、また浄化槽工事業者の県知事登録及び浄化槽設備士の現場への配置・監督が義務付けられています。さらに工事完了後は行政（県・市町村）による完成検査も行われています。



①掘削

掘削機械を使用して地山を必要な深度まで掘削、掘削機械を使用できない狭い場所では手掘りになります。



②碎石地業

地盤の強度を確保するもので碎石を敷いて転圧します。転圧後に捨てコンクリートを打ち仕上げます。



③基礎コンクリートの背筋

捨てコンクリート養生後に型枠工事及び背筋工事（鉄筋の組み立て）を行います。



④生コンクリート搬入

生コン製造工場から生コンクリートを運搬し、基礎コンクリートを打設します。



⑤養生後の基礎コンクリート

養生後の基礎コンクリートです。この段階で基礎工事は終了は終了し、次の段階に進みます。



⑥浄化槽本体の搬入

本体の重さは家庭槽で約150キログラムあります。ユニック車や人力（約4人）で搬入を行います。



⑦浄化槽本体の据え付け

据え付後に槽の水平を確認し、所定の位置までの水張り、そして埋め戻しを行います。



⑧上部スラブ背筋

型枠を組み立て、背筋工事（鉄筋の組み立て）の後に生コンクリートを打設します。



⑨完成

養生後の上部スラブコンクリートです。型枠を外して完成です。



★引越しをされる時は、浄化槽の清掃をお願いします！

借家にお住まいの方の引越しや家を売却される場合は、賃貸/売買契約において原則として引越し前に浄化槽の清掃（汚泥汲み取り）を行うこととされています。引越し時に清掃をお忘れになると、お住まいだった時の汚泥を残したままの状態「未清掃の状態」となり、後で不動産屋、家主、次の入居者とトラブルとなる事例があり、双方嫌な思いをすることがあります。引越しをされる時は、浄化槽清掃について弊社へ事前にご連絡下さい。

■ 連絡先（本社）099-256-0075



「どんこ村」開拓団の活動をご紹介します！

「どんこ村」開拓団事務局担当の椛さんに「どんこ村」について聞きました。「どんこ村」開拓団は、鹿児島市小山田町にある耕作放棄地の田んぼを再生させ、お米を作り、東日本大震災孤児への収穫したお米の贈呈などの活動をしております。団員は30名、小山田町の田んぼ（約5,000㎡）と畑（約1,000㎡）が活動の舞台です。

「どんこ」村ではお米を作りながら年5つのイベントを行い、そのイベントには多くの子供たちが参加しています。お米作りや野菜収穫などの農業体験、そして案山子作りや小川での魚釣りなど親子での参加体験をつうじて子供達の心豊かな成長を願いながら活動している団体です。あなたも「どんこ村」開拓団のイベントに参加しませんか。

（イベント案内）

- 6月：田植え（手植え）
- 7月：案山子祭り（案山子作り）
- 10月：稲刈り（鎌で稲刈り、足踏み脱穀機）
- 12月：収穫祭（もちつき大会）
- 3月：菜の花祭り（春の川辺での魚釣り）

（イベント参加者募集）

- ※対象者：鹿児島市内の小学低学年生を含む家族
- ※参加料：1家族1,000円（年間）
保険料のみ、当日集金
- ※申込方法：申込用紙あり、電話にてお問い合わせください。



「どんこ村」開拓団とは

- 設立目的：震災孤児等の支援、地域の活性化
- 設立年月日：平成24年5月20日
- メンバー：30名
- 活動地域：鹿児島市小山田町
- 活動面積：田（約5,000㎡）畑（約1,000㎡）



（お問合せ）「どんこ村」開拓団事務局担当（執事）椛 孝二 鹿児島市小山田町5871-1 ☎080-5210-3567

おやっ！めずらしいもの紹介！ お客様宅を訪問した際に目に付いたものです。

■ コンクリート壁にデザイン画（伊集院町中川）

国道3号線沿いのジョイフル伊集院中川店駐車場から郡山方面にハッキリと壁絵が見えます。描いたのは宮之前久子さんと、自宅周辺のコンクリートの壁に生えたコケをねじれ鎌で削り、4日間かけデザインを完成させたとのこと

です。目を引かれる美しいデザインですね。



■ 自宅でゼロ戦模型を制作（伊集院町飯牟礼）

太平洋戦争中にゼロ戦の整備をしていた榎園良光さんは、90歳を目前にして戦時中のことを思うことが多くなり、平和への願いを込め自宅でゼロ戦模型を制作。操縦席の日の丸のハチマキを締めた操縦士の顔が印象的です。

「あっぱれ！」な力作です。

